

(お知らせ)

令和2年12月24日

京都市文化市民局

(担当 文化芸術企画課 366-0033)

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団

(担当 総務部 707-6431)

ロームシアター京都館長人事及び本件に係る信頼回復の取組について

ロームシアター京都館長人事につきまして、京都市及び(公財)京都市音楽芸術文化振興財団(以下、「財団」という。)では、令和2年3月19日に三浦基氏の館長就任延期を発表して以降、市民や劇場関係者等の皆様の懸念の払しょくや信頼回復のための取組を検討してまいりました。

このたび、外部有識者の意見をお聞きしながら、本件に係る問題点を検証し、信頼回復のために必要な取組を別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

また、三浦氏の館長就任については、信頼回復の取組を進める中で、選定に当たったプロセスや館長像の検討等について問題点の指摘を受けるとともに、劇場関係者や職員等からの意見もあり、三浦氏の館長就任について、慎重に検討してまいりました。

一方で、三浦氏から、「交渉事案の相手方から問題を再度提起され、現状で公共劇場の館長職に就任することは難しいのではと思案している。」旨の申し出がありました。

こうした状況から、市、財団、三浦氏の三者で協議した結果、三者合意の上で、三浦氏の館長就任については見送ることといたしました。

今後も引き続き、館長像の検討や選定プロセスの充実を進めるなど、京都市と財団が連携し、信頼回復の取組を着実に実施するとともに、その状況について情報発信を行い、市民、劇場関係者の皆様とともに、劇場文化の発信に全力を傾注してまいります。